

展る。これは勿論商業道徳上からいつても不正であり辯護の余地はない。

しかし他方日本資本家にいほせるとかゝる文字はむしろ其の買主筋で勝手につけたものもあり又買主の方から日本の生産者の方に付けてくれと注文して來るものもあるといつて可い。しかし眞偽の程は分らないが不正であると云ふ非難は何れにしても免れる事は出来ない

例日本商品がソーシアル・ダンピングなりとするこの問題對策に關する一二の示唆

- 1 日本商品の侵入國に於てその關稅率を現在の日本關稅率に低下するならば彼等の主張の主要點である労働條件の改善を或る程度まで容認してよいとの理想論
- 2 右理想論より更に進んで日本特權考に門戸を開放し移住の自由を許すに於ては我又彼等の要求を應答すべしとの意見
- 3 この問題は結局新興工業國たる日本の經濟力の進展に對する

國及其他の産業國の嫉視であり多分に政治的意味を有する故今日徒らなる辯護を爲すも結局は勞して功なき事が豫想される故これを放棄しむしろブロック協定支那を中心とする經濟政策を以て是に對抗すべしとの意見

4 先方が關稅を高めて我國生産品の進出を阻止せんとするならば、我々は労働賃金を低下し労働時間を延長しこれを以てして労働條件を改善する事により生産量を切り下げこれを以てして市場に對抗し海外市場に於ても市場を失ふならば更に新に乙地を對抗すべしとの意見

5 日本産品は從來國內市場として労働條件の改善が阻害されしときかくする事は殊外に於ける産業競争を不利に陥る結果となり我日本産品の海外市場を自ら阻止する自衛的行動なりと論ずるを常とした。然るに今や日本産品は非常なる勢ひで海外に進展し各産業國の脅威となりつゝ、ある現状なるを以てこの障に於て労働條件を改善する事は國內市場に於ける經濟力の